

平成17年国勢調査抽出速報と今後の公表予定



# 平成17年国勢調査

## 抽出速報集計結果

### 結果の概要

---

#### 目 次

I	進行する少子・高齢化	1
II	就業面から見た人口の変化	11
III	変化する産業・職業構造	22
IV	変化する世帯の姿	28
	平成17年国勢調査の概要	37

---

平成18年6月30日

注1) **抽出速報集計結果**は、全世帯のうちから約100分の1の比率で抽出した世帯の調査票を基に、基本的な事項について集計したものである。したがって、本冊子中、平成17年の結果数値は、抽出による標本誤差を含んでおり、後日公表される全世帯の調査票を基にした集計による結果数値とは必ずしも一致しない。

注2) 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。なお、四捨五入は各々が表章単位未満を含んだ数値で行っているため、表中の値を四捨五入した計算値と本文中の値が一致しない場合がある。また、本文及び図表中の総数、割合及び増加率などについても、表中の値による計算値と本文及び図表中の値が一致しない場合がある。

# I 進行する少子・高齢化

## 1 我が国の人口構造は少子・高齢化が進行

平成17年の人口（1億2776万人）を年齢3区分別にみると、15歳未満人口は1740万人（総人口の13.6%）、15～64歳人口は8337万人（同65.3%）、65歳以上人口は2682万人（同21.0%）となっている。

これを平成12年と比べると、15歳未満人口は107万人（5.8%）減、15～64歳人口は285万人（3.3%）減、65歳以上人口は481万人（21.9%）増となっている。また、総人口に占める割合は、15歳未満人口が1.0ポイント低下したのに対し、65歳以上人口は3.7ポイント上昇しており、我が国の人口構造は少子・高齢化が進行している。

（表1-1、1-2、図1-1）

表1-1 年齢（3区分）別人口の推移 - 全国（大正9年～平成17年）

年次	人 口 (千人)					割 合 (%)				
	総数 1)	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数 1)	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
大正9年	55,963	20,416	32,605	2,941	732	100.0	36.5	58.3	5.3	1.3
14年	59,737	21,924	34,792	3,021	808	100.0	36.7	58.2	5.1	1.4
昭和5年	64,450	23,579	37,807	3,064	881	100.0	36.6	58.7	4.8	1.4
10年	69,254	25,545	40,484	3,225	924	100.0	36.9	58.5	4.7	1.3
15年 <sup>2)</sup>	73,075	26,369	43,252	3,454	904	100.0	36.1	59.2	4.7	1.2
20年 <sup>3)</sup>	71,998	26,477	41,821	3,700	873	100.0	36.8	58.1	5.1	1.2
25年	84,115	29,786	50,168	4,155	1,069	100.0	35.4	59.6	4.9	1.3
30年	90,077	30,123	55,167	4,786	1,388	100.0	33.4	61.2	5.3	1.5
35年	94,302	28,434	60,469	5,398	1,642	100.0	30.2	64.1	5.7	1.7
40年	99,209	25,529	67,444	6,236	1,894	100.0	25.7	68.0	6.3	1.9
45年	104,665	25,153	72,119	7,393	2,237	100.0	24.0	68.9	7.1	2.1
50年	111,940	27,221	75,807	8,865	2,841	100.0	24.3	67.7	7.9	2.5
55年	117,060	27,507	78,835	10,647	3,660	100.0	23.5	67.3	9.1	3.1
60年	121,049	26,033	82,506	12,468	4,712	100.0	21.5	68.2	10.3	3.9
平成2年	123,611	22,486	85,904	14,895	5,973	100.0	18.2	69.5	12.0	4.8
7年	125,570	20,014	87,165	18,261	7,170	100.0	15.9	69.4	14.5	5.7
12年	126,926	18,472	86,220	22,005	8,999	100.0	14.6	67.9	17.3	7.1
17年	127,756	17,400	83,373	26,820	12,169	100.0	13.6	65.3	21.0	9.5

- 1) 年齢「不詳」を含む。
- 2) 一部の外国人を除く。
- 3) 沖縄県を除く。
- 4) 沖縄県の70歳以上を除く。

表1-2 年齢(3区分)別人口増減数の推移 - 全国(大正9年~平成17年)

年次	増減数 (千人)					増減率 (%)				
	総数 1)	0~14歳	15~64歳	65歳 以上	うち 75歳以上	総数 1)	0~14歳	15~64歳	65歳 以上	うち 75歳以上
大正 9年 ~ 14年	3,774	1,508	2,186	80	75	6.7	7.4	6.7	2.7	10.3
昭和 5年 ~ 10年	4,804	1,966	2,677	161	43	7.5	8.3	7.1	5.3	4.9
昭和 10年 ~ 15年	3,821	824	2,768	229	-21	5.5	3.2	6.8	7.1	-2.3
昭和 15年 ~ 20年	-502	342	-1,130	286	31	-0.7	1.3	-2.6	8.4	3.4
昭和 20年 ~ 25年	11,202	2,951	7,837	409	184	15.6	11.1	18.7	11.1	21.1
昭和 25年 ~ 30年	5,962	336	4,998	631	318	7.1	1.1	10.0	15.2	29.8
昭和 30年 ~ 35年	4,225	-1,689	5,303	612	254	4.7	-5.6	9.6	12.8	18.3
昭和 35年 ~ 40年	4,908	-2,905	6,975	838	252	5.2	-10.2	11.5	15.5	15.3
昭和 40年 ~ 45年	5,456	-376	4,675	1,158	344	5.5	-1.5	6.9	18.6	18.2
昭和 45年 ~ 50年	7,274	2,068	3,688	1,472	603	7.0	8.2	5.1	19.9	27.0
昭和 50年 ~ 55年	5,121	286	3,027	1,782	819	4.6	1.1	4.0	20.1	28.8
昭和 55年 ~ 60年	3,989	-1,474	3,671	1,821	1,052	3.4	-5.4	4.7	17.1	28.7
平成 2年 ~ 7年	2,562	-3,547	3,398	2,426	1,262	2.1	-13.6	4.1	19.5	26.8
平成 7年 ~ 12年	1,959	-2,473	1,261	3,366	1,196	1.6	-11.0	1.5	22.6	20.0
平成 12年 ~ 17年	1,356	-1,541	-945	3,744	1,829	1.1	-7.7	-1.1	20.5	25.5
平成 17年	830	-1,073	-2,847	4,815	3,171	0.7	-5.8	-3.3	21.9	35.2

- 1) 年齢「不詳」を含む。
- 2) 沖縄県を除く。
- 3) 昭和30年は、沖縄県の70歳以上を除く。

図1-1 年齢(3区分)別人口の割合の推移 - 全国(大正9年~平成17年)

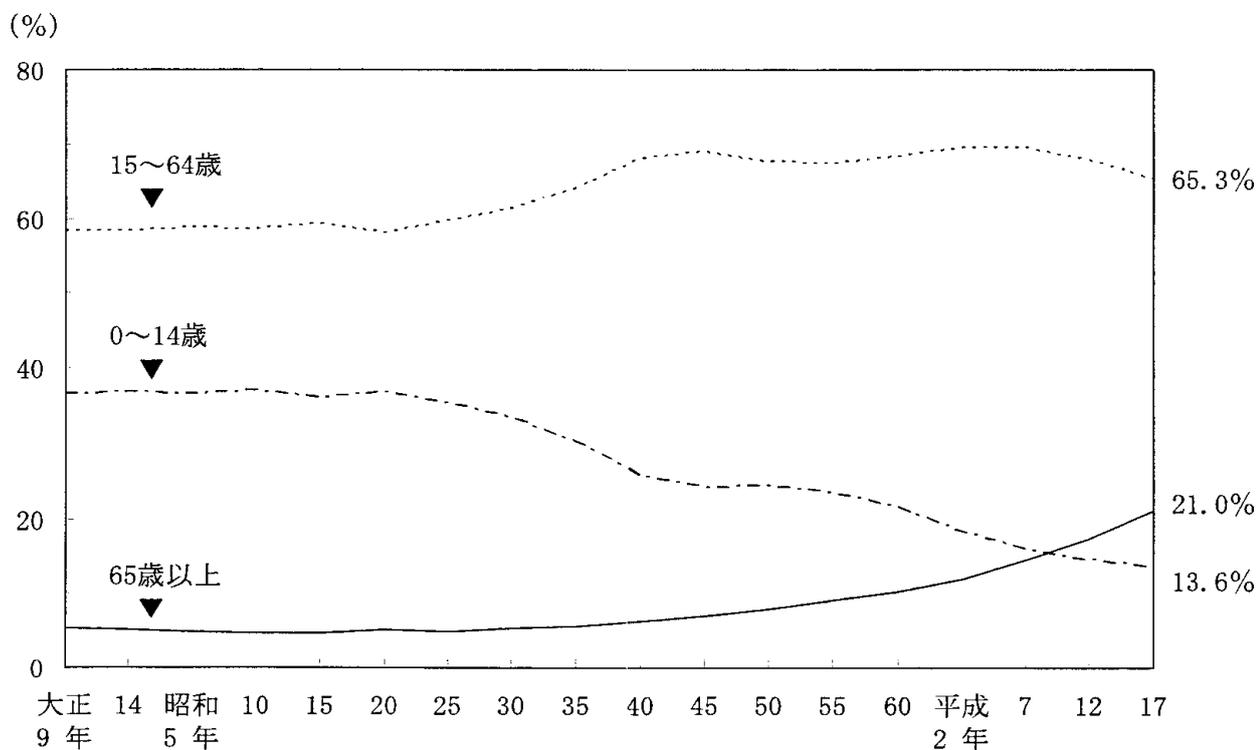


表1-3 年齢(3区分)別人口の割合 - 都道府県(平成12年, 17年)

都道府県	(%)							
	平成17年				平成12年			
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	平均年齢(歳)	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
全 国	13.6	65.3	21.0	43.9	14.6	67.9	17.3	
北海道	12.5	65.1	22.4	45.0	13.9	67.4	18.2	
青森県	13.9	63.0	23.1	45.0	15.1	65.4	19.5	
岩手県	14.1	60.1	25.6	45.8	15.0	63.5	21.5	
宮城県	13.8	65.1	21.0	43.3	14.9	67.7	17.3	
秋田県	11.7	60.2	28.1	47.8	13.7	62.7	23.5	
山形県	13.2	60.3	26.4	46.6	15.0	62.1	23.0	
福島県	14.3	61.9	23.8	45.0	16.0	63.6	20.3	
茨城県	14.0	66.1	19.9	43.5	15.4	68.0	16.6	
栃木県	14.2	65.2	20.6	43.7	15.3	67.5	17.2	
群馬県	14.3	64.7	21.0	43.8	15.2	66.5	18.1	
埼玉県	14.0	69.0	16.9	42.1	14.8	72.2	12.8	
千葉県	13.4	68.3	18.2	42.9	14.2	71.5	14.1	
東京都	11.7	68.7	19.3	43.3	11.8	72.0	15.8	
神奈川県	13.8	68.6	17.3	42.0	13.9	72.1	13.8	
新潟県	13.4	61.5	24.9	45.8	14.8	63.9	21.3	
富山県	12.9	62.3	24.7	46.3	14.0	65.2	20.8	
石川県	13.6	64.6	21.7	44.3	14.9	66.1	18.6	
福井県	14.9	61.5	23.4	44.7	15.7	63.8	20.4	
山梨県	13.9	63.1	22.9	44.8	15.5	64.9	19.5	
長野県	14.0	60.7	25.3	46.0	15.1	63.4	21.4	
岐阜県	14.0	63.4	22.6	44.6	15.3	66.5	18.2	
静岡県	14.0	64.2	21.7	44.5	15.1	67.2	17.7	
愛知県	14.7	67.3	17.8	41.9	15.4	69.8	14.5	
三重県	13.6	63.7	22.7	44.8	15.2	65.8	18.9	
滋賀県	15.2	65.7	19.0	42.2	16.4	67.5	16.1	
京都府	13.1	65.7	21.1	43.9	13.6	68.5	17.4	
大阪府	14.0	66.7	19.1	42.9	14.2	70.7	14.9	
兵庫県	14.2	64.6	21.1	43.8	15.0	68.0	16.9	
奈良県	13.0	65.3	21.6	44.5	14.8	68.4	16.6	
和歌山県	14.0	61.1	24.8	46.0	14.9	63.9	21.2	
鳥取県	13.1	61.4	25.6	46.3	15.3	62.6	22.0	
島根県	12.7	59.1	28.0	47.7	14.7	60.4	24.8	
岡山県	13.6	62.6	23.7	45.2	14.9	64.9	20.2	
広島県	13.9	64.8	21.3	44.2	14.9	66.6	18.5	
山口県	12.6	60.6	26.7	47.3	14.0	63.8	22.2	
徳島県	12.5	62.3	25.2	46.6	14.2	63.8	21.9	
香川県	13.3	62.4	24.3	46.0	14.5	64.5	20.9	
愛媛県	13.4	60.9	25.7	46.4	14.7	63.8	21.4	
高知県	12.5	60.3	27.1	47.3	13.7	62.5	23.6	
福岡県	13.9	65.5	20.5	43.5	14.8	67.6	17.4	
佐賀県	15.1	62.0	22.9	44.1	16.4	63.1	20.4	
長崎県	14.2	61.1	24.7	45.5	16.0	63.1	20.8	
熊本県	14.5	61.3	24.1	44.9	15.5	63.1	21.3	
大分県	12.4	62.4	25.0	46.3	14.7	63.4	21.8	
宮崎県	14.0	61.9	23.9	45.1	16.0	63.3	20.7	
鹿児島県	13.3	59.9	26.8	46.4	15.7	61.7	22.6	
沖縄県	18.9	63.7	17.4	39.7	20.0	65.4	13.8	

(注) 年齢「不詳」があるため、年齢区分別の割合を合計しても100%にならない場合がある。

表 1-4 諸外国の年齢（3区分）別人口の割合（2005年）

国名	年齢別割合（％）			国名	年齢別割合（％）		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上		0～14歳	15～64歳	65歳以上
アルジェリア	29.6	65.8	4.5	ベルギー	16.8	65.6	17.6
コンゴ民主共和国	47.3	50.1	2.7	ブルガリア	13.8	69.4	16.8
エジプト	33.6	61.7	4.8	フランス	18.2	65.2	16.6
エチオピア	44.5	52.5	2.9	ドイツ	14.3	66.9	18.8
ケニア	42.8	54.4	2.8	イタリア	14.0	66.0	20.0
モロッコ	31.1	64.1	4.8	ノルウェー	19.6	65.4	15.0
ナイジェリア	44.3	52.7	3.0	ポーランド	16.3	70.7	12.9
南アフリカ共和国	32.6	63.2	4.2	ロシア	15.3	70.9	13.8
スーダン	39.2	57.2	3.6	スペイン	14.3	69.2	16.5
タンザニア	42.6	54.2	3.2	スウェーデン	17.5	65.3	17.2
バンラデシ	35.5	60.9	3.6	ウクライナ	14.9	69.0	16.1
中国	21.4	71.0	7.6	イギリス	17.9	66.1	16.0
インド	32.1	62.7	5.3	アルゼンチン	26.4	63.4	10.2
インドネシア	28.3	66.2	5.5	ブラジル	27.9	66.0	6.1
イラン	28.7	66.8	4.5	コロンビア	31.0	63.9	5.1
日本	13.6	65.3	21.0	メキシコ	31.0	63.7	5.3
ミャンマー	29.5	65.6	4.9	カナダ	17.6	69.3	13.1
パキスタン	38.3	57.9	3.8	アメリカ合衆国	20.8	66.9	12.3
フィリピン	35.1	61.0	3.9	オーストラリア	19.6	67.7	12.7
韓国	18.6	72.0	9.4				
タイ	23.8	69.1	7.1				
トルコ	29.2	65.4	5.4				
ベトナム	29.5	65.0	5.4				

資料：United Nations, *World Population Prospects*, 2004年版による。ただし、日本は国勢調査の結果による。

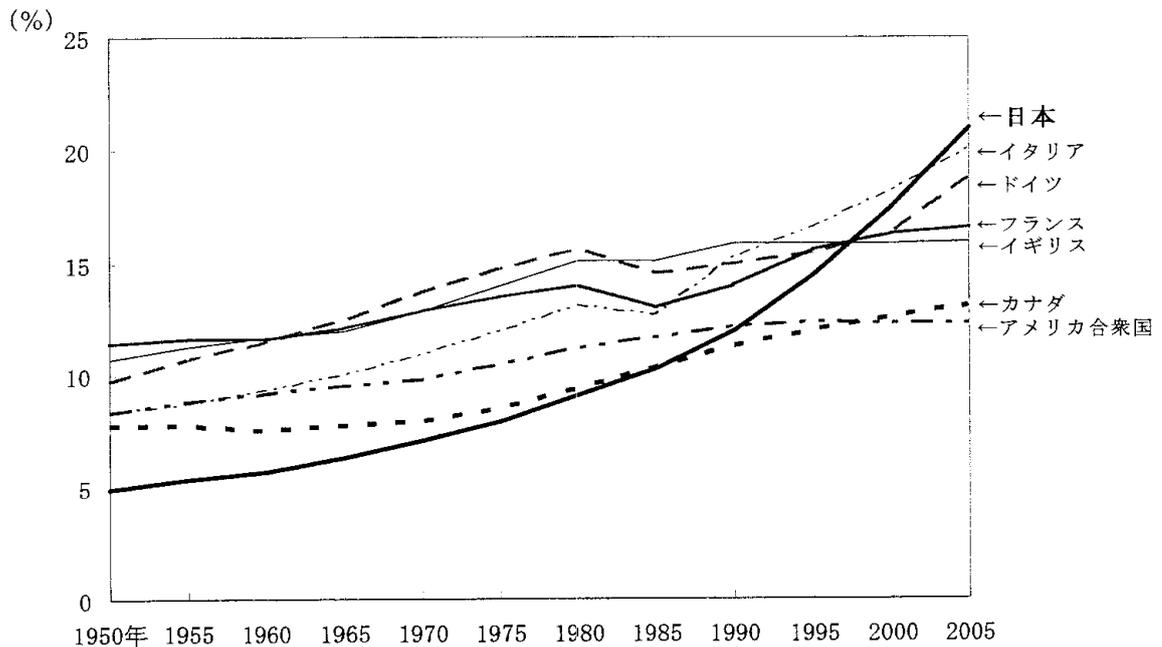
## 2 65歳以上人口の割合は21.0%に上昇し、世界で最も高い水準

65歳以上人口（老年人口）は2682万人で、総人口に占める割合は21.0%と調査開始以来の最高を更新している。

総人口に占める老年人口の割合の推移をみると、昭和25年以前は5%前後で推移していたが、その後は拡大が続き、60年には10%を超え、次第に拡大幅を広げている。特に後期高齢者（75歳以上人口）は、平成12年と比べると、317万人（35.2%）増と大幅に増加している。（表1-1, 1-2, 図1-1）

老年人口の割合について諸外国と比べると、我が国はイタリア（20.0%）を超え、世界で最も高い水準となった。（表1-4, 図1-2）

図1-2 主要先進国の老年人口の割合の推移 (1950年～2005年)



資料：United Nations, *World Population Prospects*, 2004年版による。ただし、日本は国勢調査の結果による。

老年人口の割合を都道府県別にみると、秋田県が28.1%と最も高く、次いで島根県が28.0%、高知県が27.1%などとなっている。一方、最も低いのは埼玉県で16.9%、次いで神奈川県が17.3%、沖縄県が17.4%などとなっている。これを平成12年と比べると、奈良県の5.0ポイント増を最大とし、すべての都道府県で上昇しており、全国的に高齢化が進行している状況にある。(表1-3)

### 3 15歳未満人口の割合は13.6%に低下し、世界で最も低い水準

15歳未満人口(年少人口)は1740万人で、総人口に占める割合は13.6%と調査開始以来の最低を更新している。

総人口に占める年少人口の割合の推移をみると、昭和20年以前は36%台で推移していたが、第1次ベビーブーム後の昭和25年以降縮小が続き、昭和50年には第2次ベビーブームによる出生率の上昇により一時拡大したものの、55年には再び縮小に転じ、その後も縮小が続いている。(表1-1, 1-2, 図1-1)

年少人口の割合について諸外国と比べると、我が国はブルガリア(13.8%)、イタリア(14.0%)などより低くなり、世界で最も低い水準となった。(表1-4)

年少人口の割合を都道府県別にみると、沖縄県が 18.9%と最も高く、次いで滋賀県が 15.2%、佐賀県が 15.1%などとなっている。一方、最も低いのは秋田県と東京都で共に 11.7%、次いで大分県が 12.4%などとなっている。これを平成 12 年と比べると、鹿児島県の 2.4 ポイント減を最大として、すべての都道府県で低下しており、全国的に少子化が進行している状況にある。(表 1-3)

#### 4 15～64歳人口の割合は65.3%に低下し、主要先進国の中ではフランスに次いで低い水準

15～64 歳人口（生産年齢人口）は 8337 万人で、総人口に占める割合は 65.3%となっている。

総人口に占める生産年齢人口の割合の推移をみると、昭和 25 年以前は 60%弱で安定して推移していたが、その後は拡大を続け、第 2 次ベビーブーム期の出生人口が 15 歳以上に達した平成 2 年には調査開始以来最も高くなったが、この時をピークにしてその後は縮小が続いている。(表 1-1, 1-2, 図 1-1)

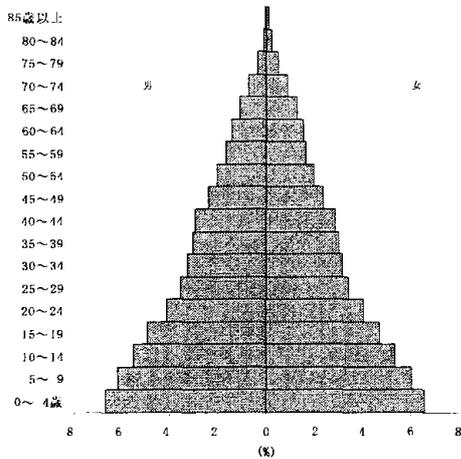
生産年齢人口の割合について主要先進国（フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、カナダ、アメリカ合衆国）と比べると、我が国はフランス（65.2%）に次いで低い水準になっている。(表 1-4)

生産年齢人口の割合を都道府県別にみると、埼玉県が 69.0%と最も高く、次いで東京都が 68.7%、神奈川県が 68.6%などとなっており、これらを含む 11 都府県で全国平均（65.3%）を上回っている。一方、最も低いのは島根県で 59.1%、次いで鹿児島県が 59.9%、岩手県が 60.1%などとなっている。これを平成 12 年と比べると、大阪府の 4.0 ポイント減を最大とし、すべての都道府県で低下している。(表 1-3)

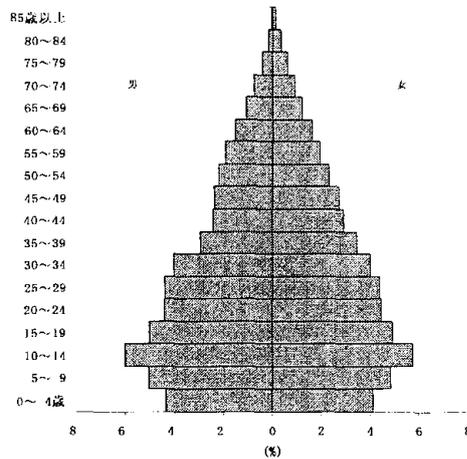
人口の年齢構造の変化を人口ピラミッドによってみると、昭和 25 年までは、若い年齢ほど人口が多くすその広い、いわゆる「富士山型」であった。しかし、その後は出生数が減少し、昭和 35 年には人口減退を示す「つぼ型」に近くなった。昭和 30 年代の終わり頃から第 2 次ベビーブームの 40 年代後半にかけて、出生数がやや増加し、ピラミッドのすそが再び広がって「星型」に近くなったが、48 年をピークに出生数が再び減少傾向となり、平成 17 年には 55～59 歳と 30～34 歳を中心とした二つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。(図 1-3)

図1-3 人口ピラミッドの推移

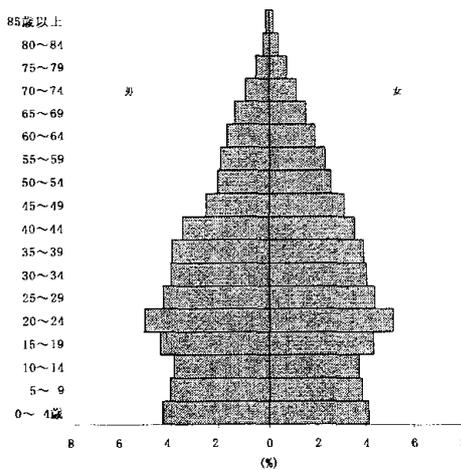
大正9年(1920年)  
(富士山型)



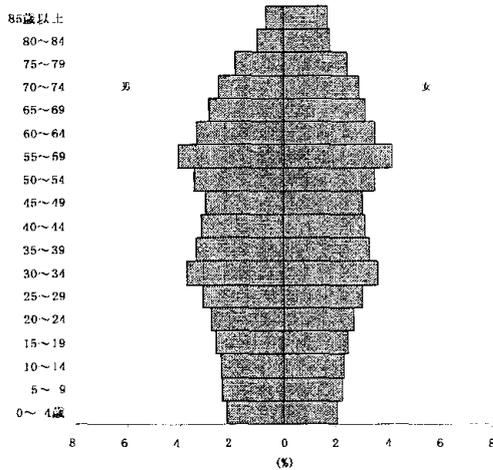
昭和35年(1960年)  
(つぼ型)



昭和45年(1970年)  
(星型)



平成17年(2005年)  
(逆ひょうたん型)



**5 未婚率は女性25~34歳、男性30歳代で大きく上昇**

男女別 15 歳以上人口を配偶関係<sup>(注)</sup> 別にみると、男性 (5308 万人) は、未婚者が 1638 万人 (未婚率 30.9%)、有配偶者が 3256 万人 (有配偶率 61.3%)、死別者が 159 万人 (死別率 3.0%)、離別者が 173 万人 (離別率 3.3%) となっている。一方、女性 (5711 万人) は、未婚者が 1295 万人 (22.7%)、有配偶者が 3268 万人 (57.2%)、死別者が 794 万人 (13.9%)、離別者が 296 万人 (5.2%) となっている。(表 1-5)

(注) 配偶関係については次の 4 つの区分としている。「未婚者」はまだ結婚したことのない人、「有配偶者」は妻又は夫のある人、「死別者」は妻又は夫と死別して独身の人、「離別者」は妻又は夫と離別して独身の人。

表1-5 配偶関係，男女別15歳以上人口 — 全国（平成12年，17年）

男 女， 配偶関係	15歳以上人口（千人）		配偶関係別割合（％）		平成12年～17年の 増減率（％）
	平成17年	12年	平成17年	12年	
男 <sup>1)</sup>	53,084	52,503	100.0	100.0	1.1
未婚	16,380	16,680	30.9	31.8	-1.8
有配偶	32,565	32,448	61.3	61.8	0.4
死別	1,585	1,397	3.0	2.7	13.4
離別	1,728	1,418	3.3	2.7	21.9
女 <sup>1)</sup>	57,109	55,721	100.0	100.0	2.5
未婚	12,949	13,201	22.7	23.7	-1.9
有配偶	32,684	32,435	57.2	58.2	0.8
死別	7,935	7,233	13.9	13.0	9.7
離別	2,962	2,428	5.2	4.4	22.0

1) 配偶関係「不詳」を含む。

男女別15歳以上人口について、未婚率を年齢階級別にみると、男女共に若年層で引き続き上昇している。平成12年と比べると、女性は25～29歳及び30～34歳でそれぞれ5.9ポイント、6.0ポイント上昇しており、25～29歳の未婚率は59.9%となっている。一方、男性は30～34歳及び35～39歳でそれぞれ4.8ポイント、5.2ポイント上昇しており、30～34歳の未婚率は47.7%となっている。（表1-6，図1-4）

図1-4 男女，年齢階級（25～39歳）別未婚率の推移 — 全国（昭和45年～平成17年）

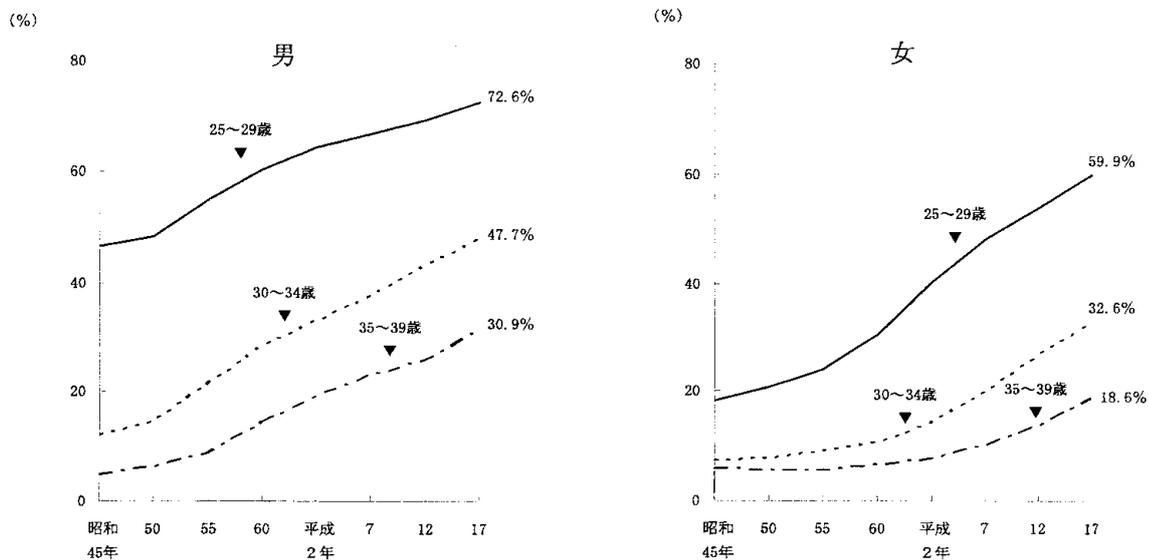


表1-6 配偶関係、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上人口の割合 - 全国（平成2年～17年）

男女 年齢	（%）															
	未婚				有配偶				死別				離別			
	平成 2年	7年	12年	17年	平成 2年	7年	12年	17年	平成 2年	7年	12年	17年	平成 2年	7年	12年	17年
男	31.2	32.1	31.8	30.9	63.8	62.6	61.8	61.3	2.4	2.5	2.7	3.0	1.8	2.2	2.7	3.3
15～19歳	98.5	99.2	99.5	99.7	0.3	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24	92.2	92.6	92.9	93.6	6.2	6.5	6.8	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3
25～29	64.4	66.9	69.3	72.6	33.9	31.6	29.6	26.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.8	1.0	1.0
30～34	32.6	37.3	42.9	47.7	65.2	60.4	54.9	50.0	0.1	0.1	0.1	0.0	1.4	1.6	2.0	2.2
35～39	19.0	22.6	25.7	30.9	78.1	74.3	69.2	62.3	0.2	0.2	0.2	0.1	2.2	2.4	3.0	3.7
40～44	11.7	16.4	18.4	21.9	84.3	79.4	76.1	71.0	0.4	0.4	0.3	0.3	3.0	3.2	3.6	4.5
45～49	6.7	11.2	14.6	17.3	88.5	83.4	78.8	75.5	0.8	0.7	0.7	0.6	3.4	4.0	4.3	4.8
50～54	4.3	6.7	10.1	14.0	90.4	87.0	82.2	77.7	1.5	1.4	1.2	1.1	3.3	4.2	4.9	5.3
55～59	2.9	4.3	6.0	9.7	91.3	88.8	85.6	81.0	2.4	2.3	2.2	1.9	2.8	3.7	4.7	5.4
60～64	2.0	2.9	3.8	5.9	91.4	89.5	87.2	83.8	4.0	3.8	3.5	3.3	2.2	3.0	4.0	5.0
65～69	1.4	1.9	2.5	3.8	90.2	89.1	87.4	85.1	6.3	6.0	5.6	5.0	1.8	2.2	3.1	4.0
70～74	1.0	1.4	1.7	2.4	87.4	87.3	86.1	84.9	9.8	9.4	8.7	7.6	1.4	1.7	2.1	3.1
75～79	0.8	1.0	1.2	1.6	81.4	83.2	82.4	81.8	16.0	14.2	13.3	12.4	1.3	1.3	1.5	1.9
80～84	0.7	0.8	0.9	1.1	71.2	74.8	76.3	76.1	26.3	23.0	19.8	18.4	1.1	1.1	1.2	1.4
85歳以上	0.7	0.8	0.8	1.0	52.3	56.4	59.5	60.4	45.1	41.4	36.3	34.2	1.0	0.9	1.0	1.1
女	23.4	24.0	23.7	22.7	60.4	59.1	58.2	57.2	12.3	12.7	13.0	13.9	3.2	3.7	4.4	5.2
15～19歳	98.2	98.9	99.1	99.2	0.7	0.6	0.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24	85.0	86.4	87.9	89.4	13.5	12.6	11.3	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.7	0.8
25～29	40.2	48.0	54.0	59.9	57.5	49.6	43.5	37.2	0.1	0.1	0.1	0.1	1.6	1.8	2.4	2.7
30～34	13.9	19.7	26.6	32.6	82.7	76.4	68.9	62.2	0.3	0.3	0.2	0.2	2.9	3.4	4.2	4.9
35～39	7.5	10.0	13.8	18.6	87.3	84.7	79.2	72.6	0.7	0.6	0.5	0.4	4.2	4.4	5.6	6.8
40～44	5.8	6.7	8.6	12.2	87.1	86.1	83.3	78.0	1.6	1.3	1.2	1.0	5.2	5.6	6.3	7.7
45～49	4.6	5.6	6.3	7.9	86.4	85.0	83.7	81.0	3.4	2.6	2.3	1.9	5.3	6.4	7.0	8.1
50～54	4.1	4.5	5.3	6.2	84.2	83.8	82.4	81.0	6.5	5.3	4.2	3.7	4.8	6.0	7.3	8.1
55～59	4.2	4.1	4.3	5.1	79.9	80.6	80.3	79.7	11.1	9.8	8.1	6.5	4.3	5.1	6.4	7.5
60～64	4.2	4.1	3.8	4.2	73.0	74.7	75.7	76.1	18.1	16.4	14.3	11.6	4.2	4.3	5.2	6.9
65～69	3.4	4.2	3.9	3.8	61.0	65.6	67.8	70.0	31.0	25.7	23.0	19.9	3.9	4.0	4.3	5.2
70～74	2.3	3.4	4.0	3.8	45.1	50.7	56.1	59.4	48.6	41.8	34.9	31.0	3.1	3.7	3.9	4.2
75～79	1.7	2.3	3.2	4.0	29.8	33.0	38.7	45.3	64.9	61.3	53.0	45.5	2.4	2.8	3.4	3.6
80～84	1.3	1.7	2.2	3.3	16.4	18.3	21.5	26.2	78.8	77.1	71.5	65.3	2.0	2.1	2.6	3.4
85歳以上	1.0	1.4	1.6	2.1	6.1	6.5	7.7	9.0	89.4	89.6	86.0	84.3	1.7	1.6	1.9	2.2

男女別15歳以上人口について、配偶関係別割合を都道府県別にみると、男性の未婚率は、東京都が37.2%と最も高く、次いで沖縄県が36.1%、神奈川県が34.8%などとなっている。一方、最も低いのは和歌山県で25.2%、次いで秋田県が25.9%、福井県が26.1%などとなっている。

女性の未婚率は、東京都が29.2%と最も高く、次いで沖縄県が26.7%、京都府が25.1%などとなっている。一方、最も低いのは島根県で17.1%、次いで富山県が17.4%、福井県が17.7%などとなっている。（表1-7）

表1-7 配偶関係，男女別15歳以上人口の割合 — 都道府県（平成17年）

(%)

都道府県	男			女		
	未	婚有配	偶死別・離別	未	婚有配	偶死別・離別
全 国	30.9	61.3	6.2	22.7	57.2	19.1
北海道	28.6	62.9	7.3	22.1	55.6	21.2
北海 道	28.4	63.5	7.7	19.4	57.0	23.2
青森 県	28.0	64.7	6.9	18.6	58.7	22.6
岩手 県	31.6	61.2	6.2	24.0	56.5	18.7
宮城 県	25.9	66.7	7.0	17.8	56.9	25.1
秋田 県	26.6	65.7	7.3	18.4	59.7	21.7
山形 県	28.7	64.2	6.4	19.3	59.2	21.0
福島 県	30.8	61.8	6.4	20.6	60.7	18.2
茨城 県	29.4	63.4	6.3	21.1	60.3	18.2
栃木 県	29.5	63.9	6.2	21.0	59.9	18.8
群馬 県	32.6	60.3	5.2	23.7	60.5	15.0
埼玉 県	32.1	60.9	5.2	23.4	59.8	15.6
東京 都	37.2	53.0	5.3	29.2	51.5	16.1
神奈 川 県	34.8	58.7	5.2	24.3	59.5	15.3
新潟 県	28.9	64.1	6.5	18.7	59.7	21.3
富山 県	26.8	66.9	5.9	17.4	59.9	22.4
石川 県	29.4	63.8	5.8	21.0	57.4	21.1
福井 県	26.1	66.2	7.3	17.7	61.6	20.3
山梨 県	29.9	63.4	5.9	21.4	58.7	19.6
長野 県	27.4	66.1	6.1	19.1	60.3	20.4
岐阜 県	28.0	65.5	6.2	19.5	61.1	19.3
静岡 県	28.8	64.1	6.6	19.7	60.6	19.3
愛知 県	32.4	60.7	5.5	22.6	60.2	16.5
三重 県	27.5	65.6	6.4	19.4	60.1	20.0
滋賀 県	29.7	64.2	5.5	21.3	61.1	17.1
京都 府	32.1	60.5	5.6	25.1	54.4	18.9
大阪 府	31.2	59.6	6.9	24.9	54.6	18.9
兵庫 県	28.7	63.7	6.0	22.6	57.5	18.7
奈良 県	28.2	65.4	5.8	23.1	58.6	18.0
和歌 山 県	25.2	65.4	8.3	18.6	57.5	23.1
鳥取 県	28.6	63.1	7.5	18.6	57.2	23.6
島根 県	26.7	65.5	7.3	17.1	58.7	23.6
岡山 県	28.2	63.7	6.8	20.4	57.6	21.2
広島 県	28.5	63.6	6.4	21.3	57.5	20.4
山口 県	26.5	65.3	7.5	18.4	57.1	24.1
徳島 県	27.2	64.2	7.9	18.9	57.6	22.8
香川 県	26.6	65.6	6.8	18.5	58.8	22.2
愛媛 県	26.7	64.0	8.2	19.9	55.5	24.0
高知 県	28.2	61.5	9.0	20.8	51.8	26.0
福岡 県	31.5	59.4	7.1	25.0	52.3	21.5
佐賀 県	29.3	64.2	6.2	21.6	56.3	21.9
長崎 県	27.5	64.8	7.3	21.5	54.3	23.9
熊本 県	27.5	64.7	6.8	21.8	55.6	21.9
大分 県	26.3	64.7	8.3	20.9	55.7	22.9
宮崎 県	28.0	63.6	7.8	19.9	56.7	22.6
鹿児島 県	27.9	63.8	7.9	21.1	54.8	23.9
沖縄 県	36.1	55.0	6.8	26.7	52.2	19.3

## Ⅱ 就業面から見た人口の変化

### 1 労働力人口は引き続き男性で減少、女性で増加

～女性の労働力率は30～34歳で大きく上昇～

15歳以上人口（1億1019万人）の労働力状態をみると、労働力人口（就業者及び完全失業者）は6546万人で、平成12年と比べると、64万人（1.0%）減となっている。一方、非労働力人口（家事従事者、通学者、高齢者など）は4132万人で、平成12年と比べると、93万人（2.3%）増となっている。

労働力人口を男女別にみると、男性は3833万人、女性は2713万人で、平成12年と比べると、男性が92万人（2.3%）減、女性が28万人（1.1%）増となっている。

男女別労働力人口の推移をみると、男性は平成7年をピークに引き続き減少、女性は引き続き増加している。

労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口の割合）は59.4%で、平成12年と比べると、1.7ポイントの低下となっている。これを男女別にみると、男性が72.2%、女性が47.5%で、平成12年と比べると、男性が2.6ポイント、女性が0.7ポイント低下している。（表2-1）

表2-1 労働力状態，男女別15歳以上人口の推移 — 全国（昭和45年～平成17年）

男女，年次	15歳以上人口（千人）			労働力率 （%）	労働力人口の 増減率（対前回） （%）
	総数 1)	労働力人口	非労働力人口		
総数					
昭和 45年	79,512	53,321	26,188	67.1	-
50	84,673	54,390	1) 30,283	64.2	2.0
55	89,482	57,231	32,099	64.0	5.2
60	94,974	60,391	34,407	63.6	5.5
平成 2年	100,799	63,595	36,786	63.1	5.3
7	105,426	67,018	37,881	63.6	5.4
12	108,225	66,098	40,386	61.1	-1.4
17	110,193	65,462	41,320	59.4	-1.0
男					
昭和 45年	38,512	32,467	6,042	84.3	-
50	41,112	34,306	1) 6,806	83.4	5.7
55	43,442	35,647	7,744	82.1	3.9
60	46,131	37,072	8,964	80.4	4.0
平成 2年	48,956	38,523	10,183	78.7	3.9
7	51,239	40,397	10,490	78.8	4.9
12	52,503	39,250	12,080	74.8	-2.8
17	53,084	38,332	12,821	72.2	-2.3
女					
昭和 45年	41,001	20,854	20,146	50.9	-
50	43,561	20,084	1) 23,477	46.1	-3.7
55	46,040	21,584	24,355	46.9	7.5
60	48,843	23,319	25,443	47.7	8.0
平成 2年	51,842	25,073	26,603	48.4	7.5
7	54,186	26,621	27,391	49.1	6.2
12	55,721	26,848	28,307	48.2	0.8
17	57,109	27,130	28,500	47.5	1.1

1)労働力状態「不詳」を含む。